



# 鼓目女

題字 故市川信夫氏



上から 《越後簀女日記》『雪山光る』油彩 1974年（濁川清夏蔵） © S.U.Z.U.M.I.F.U.R.I.G.A.  
 《越後簀女日記》杉本キクイさん ベン彩色 1970年頃（斎藤裕重蔵）  
 お春簀女物語《月見草》油彩 1975年（上越市立総合博物館 蔵 池田敏章コレクションより）



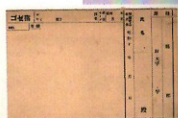
吹抜けのチャノマ

多くの皆様のご寄付と上越市歴史的建造物等整備支援事業により、改修整備を進めております。  
 展示とあわせて、昭和初期の暮らしを伝える 麻屋高野（昭和十二年築・有形登録文化財）で、雁木町家の佇まいを感じてください。

このたび、地域社会の文化の発展と理解に寄与することを願い、上越市東本町二丁目の「麻屋高野」（国登録有形文化財を改修し、「簀女ミュージアム高野」として歩み出すことになりました。本会の発足から今日まで支援をいただきました多くの皆様から心からの感謝を申し上げます。  
 「簀女のおまごころ」が互助の精神を象徴する「雁木の町」に甦り越後高野を訪れてその歴史と心情を共有されることを祈ります。

特定非営利活動法人  
 簀女ミュージアム高野

## しるし

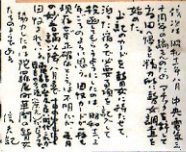


昭和四十年代頃までの町家暮らしを思い出すように展示を心掛けています。吹き抜けと渡り廊下のあるオノノマでは、当時の高田簀女の記録映像をご覧ください。ご意見、ご感想をお待ちしております。ご意見、ご感想を庭を眺める縁側に、簀女と斎藤真一両面に囲する書籍を集めています。ゆっくりお過ごしください。

座敷の床にブロンズ像も



貴重な写真と記録文書  
 上左: 戦前の妙音調の様子  
 上右: 簀女宿の調査票  
 (市川家所蔵の資料より)



緑側ライブラリー

右: 温湿度に配慮した展示ケース  
 (新潟ろうきん福祉財団作成)

